

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来にむかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年7月14日 文責：校長 森川 稔



1 学期最終週です

暑さが厳しい日が続いていますが、1学期も最終週となりました。学期末にあたり、先生方は通知表作成や夏休みの学習計画の準備等で大忙しです。昨年度も書きましたが今回は通知表について…

通知表は、伸ばしたいところや補いたいところをお伝えし、ご家庭と協力して今後の指導に活かすためにあります。学力で子どもを



序列化するものではありません。「よくできる」の数ばかり気にする子や、逆に全く気にしない子など様々ですが、学校としては学力も人格の大切な一部分と考えています。つまり、学習の様子・生活の様子・からだの様子(出欠の記録や以前配付した「のびゆくからだ」)は、どれも大切な「生きる力」を育てる視点と考えています。

「氷が溶けたら何になりますか？」という問いに「春になります」とにこやかに答えた子どもがいたら、どう評価されるでしょうか？ 理科では間違いでも、想像力や表現力の豊かさは「十分満足できる」だと思うのです。ところが通知表では、そんな子どものよさを評価する項目がありません。そこで、所見の欄が必要になります。○や△の記号で表せない子どもの特性を文章でお伝えしています。でも、150～200字程度の文字数ではそれみたいへん難しく、先生方は悪戦苦闘しています。子どものよさを上手く伝えられないジレンマで、時には押しつぶされそうになります。

田平東小学校では、通知表を、子どもを励ますメッセージにしたいと考えています。ですから、通知表の返信欄(家庭から)には、どんな些細な事でも構いませんので、我が子のよさを十分にアピールして下さい。

2学期はじめには、子どもたちに再度通知表を振り返らせ、ご家庭と先生からのメッセージをもとに目標を考えさせようと思います。通知表がきっかけになって、今まで気づかなかった子どものよさを、ご家庭と学校が一緒になってたくさん引き出せたらいいと思います。

なお、通知表の見方については、最終ページに記載しますのでご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。



学期末の学習も充実しています

4年生は、社会科でゴミのゆくえについて学習を進めていますが、先日は町内のクリーンセンターに校外学習に行き、施設内の見学をしながらごみ処理の仕方についていねい

に説明をしていただきました。たくさんの燃えるごみのごみピットで細かくされている時間だったのでその迫力にみんな驚いていました。また、ごみがどのようなものに生まれかわるのかについても実物を展示していただいていた。ごみの熔融余熱を利用して電気を作り、施設内のかなりの電力になっていることも驚きでした。最後にあらかじめお尋ねしていた子どもたちの質問に丁寧に答えてくださいました。先日の浄水場に続き、町内の施設について充実した学習ができました。



6年生は、9月の修学旅行と一緒に活動する田平南小のみなさんとの交流会をしました。今年度は南小のみなさんを本校にお迎えしました。当初はちょっとお互いに緊張しているよう



にも見えましたが、アイスブレイク（緊張を解きほぐすための活動）をとおして会話や笑顔も増えてきました。最後はレクリエーションでドッジボール等を行い気持ちのいい汗をかくて盛り上がりました。親睦を十分に深めた子どもたち、9月の修学旅行でさらに仲良くなって楽しい行事を創っていききたいと思います。

最後は、プロのスポーツ選手をお招きしての「ラグビー教室」です。ラグビーは、タックルの代わりに腰に付けたタグを取る新たなスタイルのラグビーで、接触がなく、安全に気軽にプレーできる競技です。今回は、プロのラグビーチーム「キューデンヴォルテクス」の選手、スタッフのみなさんが来て下さいました。

熱中症対策をしっかりと行った中で、子どもたちは、選手のみなさんからタグの取り方やボールの回し方などを教えてもらいながらプレーを楽しんでいました。ふだん、なかなか体験できない貴重な機会をいただきました。



体調管理にご留意を！



学期末を前に、ちょっと体調不良の子が増えています。先号でもお伝えしましたが、屋外での活動については、熱中症指数をもとにお子さんの体調を第一に考えた対応をしています。引き続き、ご家庭におかれましては、「早寝、早起き、朝ごはん」「十分な水分の携行」についてご協力をお願いします。

田平東小HPはこちらから→

